

第2学年 生活科 学習指導案

平成22年1月27日(水) 第5校時
狛江市立緑野小学校 2年2組 30名
授業者 2年2組担任 藤 美香子
学校司書 松原 礼子

1 単元名 「サケをそだてて ほうりゅうしよう」

2 単元の目標

- ・サケの飼育を通して、成長の様子や変化に関心を持ち、生命を持ち成長していることに気付く。
- ・サケの飼育を通して、気付いたことや調べてわかったことをわかりやすくまとめ、表現する。
- ・サケを育てることを通して、友達のよさや自分のよさに気付く。

3 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	生き物や自分についての気付き
・サケの成長の様子や変化に関心を持ち、命あるものとして大切にしている。 ・サケに親しむ活動を楽しもうとしている。	・見る、聞く、触れる、育てる、調べる、考えることを通し、気付きや思いなどを表現することができる。	・サケの成長の様子や変化に気付いている。 ・学習活動を通して、自分や友達のよさに気付いている。

4 児童の実態及び単元設定の理由

学習指導要領 内容(7)

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようになる。

2年生では、生活科学習の柱の一つを、「命に触れる学び」とし、1学期にミニトマト、大豆、ワタを、2学期はブロッコリー、らっかせいの栽培活動を行った。植物の栽培を通して、大きくなったり、実をつけたりする変化や成長に関心を持ち、世話をする楽しさや喜びを味わわせてきた。休み時間に実をつけたことを発見し、それを日記に書いたり、学級全体に広げたりと、植物の生長を楽しみに観察する姿が見られた。

2学期後半から3学期までのサケの飼育活動を通して、「命に触れる学び」の最終段階とし、総合的な学習につながる生活科学習として、体験活動から課題を見つけ、調べる学習を設定した。

サケは私たちの身近にいない魚であるが、食生活では馴染みのある魚であり、給食の食材にも使われる魚である。しかし、店頭や家庭では、切り身としてしか目にすることがない児童がほとんどである。卵からの孵化、稚魚というサケに成長過程を観察し、理解し、放流する活動を通して、命あるものに触れる学びを深めさせたいと考えた。

そこでまず、共通の学びの土台として、国語で、『さけが大きくなるまで』で、サケの成長過程を学習した。一つの場面ごとに、「おやっ?」と思うことを書きため、その後、親サケを観察したり、触れたりした。実物を見て、「おやっ?」と思うことが解決した一方で、さらに疑問が深まったり、具体的な疑問もったりしていた。孵化から稚魚までの飼育活動の中でも、同様である。体験活動から生まれた疑問や課題を解決するために、B分科会の学校図書館の情報活用を手立てとして取り組んだ。

さらに学習のまとめとして、調べたことや気づいたこと、体験活動から分かったことを、カルタで表現することにした。カルタで表現する理由として、学習したことの中から、キーワードを選び、焦点化の中で、自分の伝えたいことを明確にすることができると考えたからである。また、お互いの思いや気づきをカルタ大会を通して、意欲的に表現し、交流することができると考えた。カルタは、「五七五」の俳句のような形で作る。現在、日常の活動で俳句作りを行っているが、書くことが苦手な児童も、俳句を通して自分の伝えたいことを伝えたり、「もっと作りたい！」と楽しんで俳句を作ったりする姿が見られる。児童が意欲的に楽しく学習に取り組んで欲しいと考え、カルタを作る活動を設定した。

12月からサケの飼育を始め、卵から稚魚に成長していく姿を見て、「昨日より元気で安心したよ」「かわいいから妹と同じ名前をつけたいな」と愛着をもってサケを育てる児童もいる。知りたい・調べたいという意欲はある一方で、図書資料の活用や調べてわかったことをカードに書いたり、友達に伝えたりすることについては、個人差が大きい。そのため、個人差を埋めるために、学校司書と共に指導し、できるだけ個別に支援するようにしている。

本単元を通して、他の生き物への興味・関心を持ち、命の大切さに気付かせていきたい。そして、「大きくなったよ」の単元で、自分自身の成長を振り返り、自分の命・成長・成長を支えてくれた人などに対する気づきへと、つなげていきたいと考える。

6 具体的な手立て（本単元における主な手立て）

A分科会（日常的な活動）

- ・カルタ読み札作り 事実や様子・思いを俳句形式で表す。
 - 言葉を選んだり、吟味したりして、自分なりの表現をしようとする。
 - 友達とのカルタ読み札作りの交流やカルタ大会を行う。
 - 友達の気づきや思いを知る。
- ・ワークシートの活用 → 伝えたいことを選ぶ。
- ・友達との交流 → サケの水槽の前に、サケを見て気づいたことを交流できるよう、「サケちゃんニュース掲示板」設け、学年間で気づいたことをカードで交流したり、観察の意欲づけを行ったりする。また、朝や帰りの会で、気づいたことを発表する場面を設ける。

B分科会（図書館活用・調べ学習）

- ・サケに関する図書資料を学級に置き、いつでも触れられるようにする。
- ・図書資料を読み込む活動を取り入れ、活用したい資料を比較させる。
- ・学校司書と連携し、個別に支援できるようにする。
- ・「おやっ？」カードを書きため、課題を熟成させる。
- ・調べカードの活用（シールを用いて、テーマ別に分類）

C分科会（書くことによる思考）

- ・観察カードの視点の指導

	学習活動 ◎学習のめあて ○活動	・指導上の留意点 ☆評価
国語科『さけが大きくなるまで』	8 ◎サケの成長について、順序に気をつけて読もう ○サケの成長について、時間的な順序や場所的な推移を考えながら読む。 ○場面ごとに、「おやっ？」と思った疑問を、カードに書く。	☆関心・意欲・態度 サケの成長に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。 ☆読むこと 時間的な順序や場所的な推移を考えながら内容の大体を読む。



	学習活動 ◎学習のめあて ○活動	・指導上の留意点 ☆評価
本物のサケを見てみよう	◎本物のサケを見てみたいな ③ <ul style="list-style-type: none"> ・オスとメスは大きさがちがうんだなあ。 ・オスの顔はとがっているなあ ・たまごがおなかからはみでていて、びっくり！ ○サケをさわったり、口の中を見てみたりする。 ○体のつくりをよく見て、本物の大きさと描く。 ○おなかの中を見る。 ○卵の数を数える。 ○サケの利用の仕方を知る。(サケ汁)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で、不思議だなあ、調べたいなあと思ったことをカードに書き、疑問をためる。 ☆関心・意欲・態度 サケを見たり、触れたりする活動を楽しんでいる。 【「おやっ？」カード、行動観察】
サケについて調べよう	◎サケはかせになろう ④ <ul style="list-style-type: none"> ・サケの体ってどうなっているのかな。 ・卵はどこにあるのかな。 ・このヒレは何かな。 ・サケは何を食べるのかな。 ○これまでに書きためた疑問（「おやっ？」カード）の中から、特に知りたいことを3つ選び、簡単な分類をする。 ○調べたことをカードに簡単な文でかいたり、絵を描いたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・サケに関する本や資料を、学級に置き、いつでも触れられるようにする。 ・成長、体の仕組み、行動、その他と簡単な分類をし、自分が調べていく目的を明確にさせる。 ・サケに関する資料を読み込み、活用したい資料を選ぶ。 ☆思考・表現 調べることを通して、調べわかったことを表現することができる。 【調べカード】

<p>サケをたまごから育てよう</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎サケのたまごを育てるためにはどうすればいいのかな ①</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって育てたらいいのかな。 ・エサはどうするのか。 <p>○飼育の方法を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎サケのたまごはどうやって育つのか、サケの体はどうなっているのか調べたいな ②</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで死んだようにうごかないのかな。 ・体のもようにちがいはあるのかな。 <p>○発眼卵を見て、気付いたことや思ったことを観察カードに書く。</p> <p>○稚魚の成長を見て、気付いたことや思ったことを観察カードに書く。</p> <p>○これまでに書きためた疑問（「おやっ？」カード）の中から、特に知りたいことを3つ選び、簡単な分類をする。</p> <p>○調べたことをカードに簡単な文でかいたり、絵を描いたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で、不思議だなあ、調べたいなあと思ったことをカードに書き、疑問をためる。 <p>☆思考・表現 育てたり、調べたりすることを通して、気付いたことや思ったことを表現することができる。 【調べカード、行動観察】</p>
<p>サケを育ててわかったこと、思ったことを伝えよう</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>サケを育ててわかったこと、思ったことを伝えたいな ⑤</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○伝え方を考える。 ○これまでの活動を振り返り、伝えたいことをワークシートにまとめる。 ○サケの学習をふりかえり、気付いたことや楽しかったこと、驚いたことをサケカルタに表現することができる。（本時） ○カルタを作る。 ○カルタ大会をする。 	<p>☆思考・表現 読み札作りを通して、気付きや思いを表現することができる。 【発言、カルタ】</p> <p>☆気付き 友達のよさに気づくことができる。 【発言、グループ】</p>
<p>サケを川に放流しよう</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>サケちゃん、また来てね ③</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○サケを多摩川に放流する。 ○サケへの思いや願いを手紙に書く。 	<p>☆気付き 手紙を書くことを通して、サケへの思いを手紙に表現することができる。 【手紙】</p>

8 本時（23／27時間）

（1）本時のねらい

- ・サケの学習をふりかえり、気付いたことや楽しかったこと、驚いたことをサケカルタに表現することができる。

（2）本時の展開

学習活動	・指導上の留意点 ☆評価
<p>1, 前時の振り返りをする。</p> <p>2, 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>サケの学習をふりかえり、気付いたことや楽しかったこと、驚いたことをサケカルタにして紹介しよう。</p> </div> <p>3, ワークシートをもとにして、読み札を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さけのおや たまごがいっぱい すごかった ・さけのたまご つぶさないでね かぞえたよ ・さけのちぎよ たまごのなかで あばれてる ・さけのちぎよ おなかに電とう ついている ・らんおうは えいようのために あるんだよ ・あかちゃんは まんまるくってね かわいいな ・さけじるは おいしけれど かわいそう ・さけのこと とってもわかって うれしいな <p>4, 作った読み札を、グループの友達に発表する。</p> <p>5, 次時の学習内容を伝える。</p>	<p>・指導上の留意点 ☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや調べたことを、ワークシートを活用して想起させる。 ・読み札作りのイメージがもてるように、参考作品を例示する。 ・予め、調べカードや観察カード、これまでの体験活動の中から伝えたいことをいくつか選び、わかったことや思ったことをワークシートにまとめさせておく。 ・カルタを作ることが難しい児童へは、担任だけでなく、学校司書も個別に支援する。 ・読み札作りのワークシートに、カルタを作った理由や思いを、聞いている人に分かりやすく伝えるために、書き入れられるようにしておく。 ・ワークシートの話形にそって発表させる。 ・読み札と共に、カルタを作った理由や思いも発表させ、友達の気付きのよさに目を向けさせる。 <p>☆友達のよさに気付き、自分の気付きと比べながら聞いている。</p> <p>☆読み札作りを通して、気付きや思いを表現することができる。</p>

Aの視点から

教材の工夫

成果・共通の学びの土台として、国語で『さけが大きくなるまで』をもとに成長過程を学習した後に、実際に親サケに触れたり、卵から稚魚まで育てたり、体験活動を取り入れた。このことにより、学ぶ意欲が持続し、サケを通して児童同士で交流したり、自分の思いを表現しようとしたりする姿が見られた。

課題・サケの学習を振り返って、自分の伝えたいことを表現する活動で、俳句形式のカルタ作りを取り入れたが、伝えたいことを俳句形式でまとめるのが難しい児童もいた。カルタ大会を通して、お互いの伝えたいことを楽しんで交流することはできたが、実態によって、カルタ作り以外の活動も適宜取り入れることも必要だった。

Bの視点から

図書資料の活用

成果・体験活動から課題を見つけたことで、興味関心が持続し、進んで図書資料を活用しようとする姿が見られた。また、児童の気付きが、調べたことをもとにした、根拠のある気付きとなった。

- ・調べ学習を通して、サケ以外の身の回りの生き物や自然に対しての関心を高めることができた。

課題・調べたいという意欲がある一方で、図書資料の活用や、調べカードにわかったことをまとめることが難しい児童もいた。課題設定が難しい面もあったので、指導計画や調べ方の見直しが必要である。

Cの視点から

ワークシートの活用

成果・サケの学習を振り返って、児童が気付きや思い、伝えたいことなどを整理しやすくするために、図を用いた観察カードや吹き出しを使ったワークシートを活用したのは有効であった。支援が必要な児童も、進んで書き込むことができた。

課題・ワークシートに書き込むことはできても、ワークシートの話形にそって発表することが難しかった。積み上げがさらに必要である。